

私自身が『作法』の発信源に。
実際に来て、見て、感じていただけたら。

ほうじい そうせい
寶持寺・山下 崇晴さん



Go ON!



(株)安原自動車
安原さん

ETAJIMA Go ON!

Vol.3

ほうじい そうせい
寶持寺・大原
山下 崇晴

おはなし。平安と繁栄をお祈願し続けてきたお寺と住職の歴史



写真撮影：コニシションスケ

住職の後ろに見える本堂は、4年以上をかけて完成したもの。彫刻などはほとんど無いが、木のぬくもりを感じられる温かい仕様になっています。

江田島市唯一の禅寺、寶持寺。1200年以上もの間、能美島の平安と繁栄を祈り続けてきたお寺です。若いたちは知らないかも知れませんが、平成11年6月29日に起きた集中豪雨による土砂災害によって、本堂をはじめとする伽藍のほとんどを宝持寺は失っています。当時、私は21歳、愛媛県にある瑞應寺専門僧堂にて修行させていただきました。私は『首座(しゅそ)』という修行僧のリーダー役をつとめて、本来であれば、絶対に外に出てはいけないという立場ではあったのですが、「お寺が流された」という母からの電話で、急遽島に帰ることになったんです。そこからが私との物語です。そこからが私との物語です。

宝持寺の再建・復興という大きな縁の始まりでした。想像以上に変わり果てた姿のお寺、周りの環境、そして当時85歳であった先代住職の愕然としている後ろ姿：今でも忘れる事のできない、忘れてはいけない大きな出来事でした。私も災害の波の中

忘れてはいけない 寶持寺災害と復興

宝持寺は平安時代に創建された、江田島市内で一番歴史が古いお寺です。若いたちは知らないかも知れませんが、平成11年6月29日に起きた集中豪雨による土砂災害によって、本堂をはじめとする伽藍のほとんどを宝持寺は失っています。当時、私は21歳、愛媛県にある瑞應寺専門僧堂にて修行させていただきました。私は『首座(しゅそ)』という修行僧のリーダー役をつとめて、本来であれば、絶対に外に出てはいけないという立場ではあったのですが、「お寺が流された」という母からの電話で、急遽島に帰ることになったんです。そこからが私との物語です。そこからが私との物語です。

宝持寺では、毎週坐禅会を開催している町だった。それが個性になつて、町の魅力の基盤となつてゐるのです。世代間の違い・価値観の違いもあるかもしれません、『知らない』ということ自体がもつたないと思います。例えば、最近塩づくりが着目されていると聞きます。この島では、天日干しや竈炊きなど、時間を利用して塩を作ると、非常に粒の大きい、ミネラルが豊富な甘い塩が出来るんです。こうしたことを、昔の人は知つていて、作つていた。ヒントは、実は歴史や文化の中にちゃんと残っているんですよね。

昔の人たちは現代に色々な智慧を残している。それをもう一回見直そうじゃないかという活動が全国的に普及し始めている今だからこそ、この島の魅力や、これから地域を活性化させていくヒントが足元にたくさんあるのだと思います。もちろん、新しいことをすることも大切です。でも、新しいことだけだと、地の力としても、地の力としての奥行きがあります。大事なのは、この土地で経験から培った『人の智慧』なんですね。

自身が発信源となり伝えていきたいこと

にいきなり飛び込むこととなり、僧侶として未熟であった当時は、甚大な被害をもたらした災害と復興との向き合い方に、自分自身の中で色々と葛藤するものもありました。それから、あらゆる問題に直面しながらも、本堂を再建できたのは平成24年5月のこと。行事の中で昔から特に大切にされてきた『お釈迦様降誕会法要（花まつり）』で多くの方々に見守られながら本堂落慶式を執り行うことになりました。現在も、地域の方々と共に、残った仏具や仏像を修復しながら、寶持寺の復興に向けて着実に歩んでいます。

再生のヒントは足元から

今、江田島市では地域の活性化に向けて、積極的に新しいことに取り組んだり、盛り上げていこう！といふ動きがありますよね。私も住職になつてから、自分が成すべきこと、いま出来るなどを考え、少なからず色々なものに取り組んできました。しかし、日々の修行や、また、お寺の復興を通して知ったことは『まずは足元から見直すことが大切』といふことです。

私たちが暮らす江田島市は、歴史や文化が非常に豊かな島であり、これらが島の根っこ部分なのではないかと思います。私自身、活動を通して全国あらゆる場所に行っていますが、「良い町だなあ」と思つたと



綺麗に修復された仏具や仏像たち。

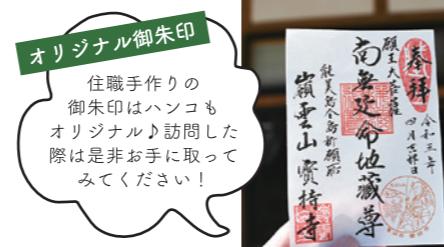
私たちが暮らす江田島市は、歴史や文化が非常に豊かな島であり、これらが島の根っこ部分なのではないかと思ひます。私自身、活動を通して全国あらゆる場所に行つていま

すが、「良い町だなあ」と思つたと

いふことです。



- 手づくりの枯山水も見どころのひとつ。
- 丁寧に手入れされた、四季折々の豊かな花や緑に囲まれている寶持寺。
- 住職が一枚一枚手描きで仕上げる人気の御朱印。



3



平安時代に創建された、江田島市内で一番歴史が古いお寺。能美島全島の祈願所として、平安と繁栄を祈り続け、島内外すべての人々を信徒とし、様々な能美島の歴史とともにずっと在り続けてきたお寺です。千ばつの時に陀峯山に登り行われてきた雨乞いや、大災害時に亡くなった人々の供養など、島をあげての公式行事も当寺院が執り行っており、島に住む人々の暮らしと共に歴史を刻んできました。

